

水城保育園 教育及び保育の内容に関する全体的な計画

ver 2604

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|---|--|---|--|---|---|---|---|--|---|--|--|
| <p>事業の目的</p> <p>「善を志向した人づくり」 保育は人づくりであり、人づくりが鍵となり得る。「善の希求」の法人理念に基づき、善を志向した人材を生み出すことを事業の目的とする。 「元気でやさしい水城の子」として善を体現した児童たちは、太宰府の歴史に編み込まれ、やがて次の歴史と新しい命の創り手となる。命の絆が繋がる中で、善が深遠していく。</p> | | <p>保育理念 (事業運営方針)</p> <p>「善(生きる)」 法人理念「善の希求」に基づき、児童・保護者・職員が「善(生きる)」ことを目指す。 地方で、善とは何かの定義は難しく、時に狭まりがちな考えに陥ることもある。それでは、常に問い、学び、求め続けることそのものが善の一つのあり方であり、結果ではなくプロセスを重視する保育のあり方と保育を同じくする。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>教育・保育方針</p> <p>「愛が溢れて、命を喜び、知を喜び」 憎しみなく愛を与えられた児童は、自他の命を愛むようになり、命を謳歌する中で知を受容する。 保育者は児童の力を信じ環境を通じて教育を行う。 保育者は人的環境として、言葉ではなく自分の姿を児童に示す。</p> | | <p>園の教育・保育目標</p> <p>長期目標「一人ひとりが自分らしく輝く」 中期目標「遊びを通じた学び」 長期が掲げている遊びは順々に進んで、遊びることができない。完成形の見えない遊びを子ども自身が開拓・展開する機会を確保することで、学びが深まっていく。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>子どもの教育及び保育目標 (学年の重点)</p> <p>(保育目標・保育の内容とともに中期・長期目標の達成率や中間評価・行事の進捗率は別添)</p> | | <p>3歳児</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆるやかなクラス意識の始まり 文字・数への興味と生活での使用 | <p>保育時間など</p> <p>1号認定／教育標準時間 9:00～13:00 (預かり保育7:00～9:00および13:00～18:00) 2・3号認定／保育標準時間 7:00～18:00 保育短時間 9:00～17:00 (預かり保育7:00～9:00および17:00～18:00) 延長保育時間 18:00～19:00</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>1歳児</p> <ul style="list-style-type: none"> 探索により世界の広さと楽しさを知る 失敗の経験が保障され、試行錯誤を積み重ねる | | <p>4歳児</p> <ul style="list-style-type: none"> STEAMマインドの高まりと長期PJの開始 | <p>主な園行事(日常の節目としての行事予定)及び行事概要</p> <p>4～6月 入園式／お花まつり／親子遠足／健康診断 7～9月 セタまつり／子どもクッキング／七夕大会 10～12月 大運動会／予選／保育参観／秋の遠足／焼き芋大会／餅つき大会／クリスマス会／終業式 1～3月 始業式／風船揚げ大会／夏まつり／発表会／卒園式・修了式</p> | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>2歳児</p> <ul style="list-style-type: none"> 想像の世界の扉を開き、現実の世界との往還を楽しむ 自己主張が尊重された先に自己抑制を知る | | <p>5歳児</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的協動的な深い学びの深化 自分たちで作る自分たちのクラス | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>園教育・保育要領上の教育及び保育の基本及び目標</p> <p>子どもたちは自ら成長する能力を持つ。自身の表現や社会への適応において大人の支援を必要とする。そこで大人は子どもたちの経験内容を5領域において分析し、次のねらいや環境設定に繋げていく。</p> | | <p>園教育及び保育において育みたい資質・能力</p> <p>5領域で分析された子どもたちの経験から次のねらいにつなげる際に、方向性を与えるための資質・能力である。小学校以降の教育と関連づけられた幼児期の3柱の資質能力は、幼児期が生涯を通じて獲得する資質・能力の土台となることを重視しつつも、発達を促す必要がある。</p> | | <p>園小学校との接続</p> <p>年少児の後半の9ヶ月を、小学校で行われる教科教育の準備期間と捉え、アプローチカリキュラムを築き立てていく。 また、生活力、生活力、かかるとの3要素についてねらいを立てる。</p> | | <p>家庭教育との連携</p> <p>家庭とは子どもたちのパートナーとして、より良い育ちのため協働する。 【美観】心身の健康状況を日々細かく共有する【教育】指導計画と実際の子どもたちの育ちの両面から協働的なPDCAを行い、子どもの学びを増進する。</p> | | <p>園内に配慮すべき事項／発達の特長性と課題</p> <p>①発達を見送ることで、発達を先取りする教育から脱却し、年齢に合った時間を確保する②有限の時間の中で質の向上を目指す意図からカリキュラム設計と称した計画で連続性の意識付けを図る 前年は「園」の発達の時間であり、午後は「園と集団」の発達の時間とする。22時以降は小学校への接続カリキュラムとなる。</p> | | | | | | | | | | |
| <p>教育及び保育の基本と目標</p> <p>(様々な力)科学・芸術への情熱を灯す文化的環境(生活する力)にないに生きる生活環境(かかわる力)助け合いながら最後までやりぬく協働的環境 上記3つの力を環境構築によって支援する</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>園舎 園 (保育施設が行う事項)</p> | | <p>0:00-4:00) 乳児</p> <p>安全・清潔な環境の中で個人に合った生活の追求の充実を図る</p> | <p>(4:00-8:00) 1歳児(満1歳以上)</p> <p>運動量の増加に伴う清潔・安全・活動的な環境を確保し、夏冬の温度変化に徐々に対応できるようにする</p> | <p>(8:00-12:00) 2歳児(満3歳含む)</p> <p>1日のリズムが定着され、自分のことが自分でできるための環境・安全・活動的な環境を保障する</p> | <p>(12:00-18:00) 3歳児</p> <p>豊富な運動量の確保と基礎運動に負けないからだづくり</p> | <p>(18:00-20:00) 4歳児</p> <p>リスクに対応できる即時反応と経験</p> | <p>(20:00-24:00) 5歳児</p> <p>自分の健康管理に関心を持ち、園内外の危険に対する意識を醸成する</p> | <p>園小学校以上との接続に備えて</p> <p>幼児教育における3柱の資質能力は、小学校以降の生涯に渡る教育の基礎と位置づけられる。本園の保育目標「知の喜び」とは、小学校以降も共通する「学びに向かう力、人間性等」を基盤に、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を、人生を彩り「善(生きる)」ための土台とすることを意味する。</p> | | | | | | | | | | |
| <p>◎ねらい及び内容並びに配慮事項</p> <p>(この教育は教育課程に係る1日4時間、年39週を下回る4歳児教育のこと)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>◎教育及び保育 (園が環境に關わって経験する事項)</p> | | <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動量の充足 清潔な心地よさ | <p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人としての意識が尊重される 特定の大人との形成者 わらべうたや絵本を通じた時間の共有 | <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 元気でありながら穏やかな時間 探検行動での自然のふれあい | <p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> 元気でありながら穏やかな時間 探検行動での自然のふれあい | <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 身体表現の重視 豊富な素材のふれあい リズムあそび | <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> 四季の戸外遊びによるリズムへの対応 高峯・天候変動のある遊びや避難訓練への挑戦的な食の行動 主体的な食の行動 身体自立と栄養衛生意識の獲得 | <p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆるやかなクラス意識の始まり 集団の中で豊かな関係性のかかわり 風通しをもった生活が可能にする主体的な環境 | <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近なものを科学する心の芽生え 【園】生活における割合・比較1 | <p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> グループでの対話のはじまり 【園】文字環境への関心・絵本のひらき・読みかたの理解 【園】持たせ・解読 | <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な道具を用いて自分のイメージを表現 伝承遊び・協働的表現活動(劇、リズム、音階)1 | <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> OL-エコシステムへの学び 挑戦を通じた危機管理能力の向上 | <p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> 園と共生として年下への関わり 保育活動の理解を受けながらのクラス自治 善が尊重されたがらみとしての関わり | <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学する心が育つPJ-1 探検の予備を確保する 【園】生活の中で5までの比較、数量、順序、5までの加減算 | <p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学する心が育つPJ-2 自然と社会のシステム 【園】生活の中で3までの比較、10までの数概念、順序表、加減算 | <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 対話による自然とルールの特徴【園】 物語を聴き楽しむ【園】 【園】文字環境への関心・読みかたの理解 【園】持たせ・解読 | <p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 健康な心と体 イ 自立心 ウ 協働性 エ 社会生活との関わり オ 思考力の芽生え カ 自然との関わり・生命尊重 ク 数量や時間、距離や文字などへの関心・感覚 ケ 言葉による伝え合い コ 豊かな感性と表現 | <p>園教育・保育において育みたい資質・能力の3本の柱</p> <p>ア 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かちたり、できるように「知」を蓄積する 「知識及び技術の基礎」 イ 気付いたことや、できるように「知」を蓄積することなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする 「思考力、判断力、表現力等の基礎」 ウ 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする 「学びに向かう力、人間性等」</p> |
| <p>※乳児は三つの視点、幼児は5つの領域で区分されている(基本事項を十分に参照)。</p> | | <p>※5歳児以上は乳児と異に区分されている(5つの領域を参照)。</p> <p>※2歳児は、満3歳の誕生日を迎える前保育、それ以降は教育及び保育に位置付けられる。</p> | | <p>※3歳児は、満3歳の誕生日を迎える前保育、それ以降は教育及び保育に位置付けられる。</p> | | <p>※4歳児は、満4歳の誕生日を迎える前保育、それ以降は教育及び保育に位置付けられる。</p> | | <p>※5歳児は、満5歳の誕生日を迎える前保育、それ以降は教育及び保育に位置付けられる。</p> | | | | | | | | | | |
| <p>健康支援／状態把握・増進・疾病対応</p> | | <p>大食育の推進</p> | | <p>大災害への備え</p> | | <p>◆子育ての支援</p> | | <p>カリキュラム・マネジメントと園児の理解にまつ課題</p> | | | | | | | | | | |
| <p>健康及び食育推進の定期的、継続的な把握 年齢別の健康観察(内科・歯科・検尿)、子ども健康観察時及び保育中の状態観察、また実業が認められたときの適切な対応 年間健康診断計画(年齢別実施) 年間健康診断計画及び毎月の検尿(園医員・園医員指導者) 学校医園内点検</p> | | <p>食と生活の最も重要な食育の1つと捉える 「3つのグループ」の活用・教室での活動において「運動転換」により中断されること、給食の意欲を向上させるための適切な対応 栄養的食育活動(栄養士と連携して)に関わり、嗜好や食育を考慮しながら「食育」活動、個々の食育支援 給食を「食育」活動として捉え、食育の意欲を高める 「3つのグループ」(園医員指導者)と連携して、食育の意欲を高める 「3つのグループ」(園医員指導者)と連携して、食育の意欲を高める</p> | | <p>避難訓練(火災、地震、水害、不審者対応)の実施(毎月) 内消防との連携による総合訓練(年1回) 消防訓練の実施 子ども及び職員の清潔保持 感染症の発生状況の把握と共有 感染症予防のための消毒プロトコル作成により、インフルエンザ・新型コロナウイルス・ノロウイルス他への対応 年間園外実習による食育及び園舎整備 お茶室マップや食卓点検と園外保育の安全管理</p> | | <p>育児相談(火災、地震、水害、不審者対応)の実施(毎月) 内消防との連携による総合訓練(年1回) 消防訓練の実施 子ども及び職員の清潔保持 感染症の発生状況の把握と共有 感染症予防のための消毒プロトコル作成により、インフルエンザ・新型コロナウイルス・ノロウイルス他への対応 年間園外実習による食育及び園舎整備 お茶室マップや食卓点検と園外保育の安全管理</p> | | <p>子どもと保護者の基本姿勢と関係性との対話により、子育てをエンパワーメントしていく 子育てに関する情報を提供し、地域の子育て力向上に努め、また子育てしやすい街を目指す ※2歳園外実習による消防訓練点検 ※3歳園外実習による健康診断・心の健康システム 年間健康診断による健康診断結果の把握 ※DWT参加による研修・共同ネットワーク構築</p> | | <p>子どもの家と保育教諭の園を保育の両輪と捉える基本姿勢を取る。これに基づき、5領域における子どもの家の分析と3資質能力による保育教諭の園との往還により、子どもの評価と次のねらいにつながる。 カリキュラムは発達ごとの園児にふさわしい経験内容であり、この内容を分析し評価する。</p> | | | | | | | | |
| <p>情報公開等</p> <p>ホームページの情報公開(財務・法務・園務) 公開保育や個別園見学による公開 論文・書籍による自園の保育手法の公開</p> | | <p>特色ある教育と保育</p> | | <p>研修計画</p> <p>【三役】月1度の三役研修(私立保育園連盟月刊誌の編集を通じた最新の保育理解)、大学院研究室所属(園長) 【職員】各職員が一度ずつ行う公開保育と全職員による振り返り、実習と研修との一体的学び(Learning in Teaching) 【その他】園内外での外部研修、講師を招いての園内研修、先進的取り組みの園間研修</p> | | <p>自己評価等</p> <p>【外部評価】公開保育のアンケート調査による評価 【内部評価】月1度の保育の振り返り、年1回の総合振り返り</p> | | | | | | | | | | | | |